

【樹木町～佐倉の路地裏を探訪】 [ダイジェスト版]

令和4年度 第4回例会 佐倉路地裏探検隊 探訪記

【 探訪マップ 】

国土地理院 監修

【 探訪地点 】

- | | | |
|----|--------------|----|
| 1 | 京成佐倉駅 | 1 |
| 2 | 県立佐倉高校1 | 2 |
| 3 | 樹木町(じゅもくまち) | 3 |
| 4 | 樹木稲荷神社 | 4 |
| 5 | 妙見神社(本町) | 5 |
| 6 | 鈴木金物の蔵(弥勒町) | 6 |
| 7 | 坂(仮称 久保町坂) | 7 |
| 8 | 妙経寺1(弥勒町) | 8 |
| 9 | 三谷家(弥勒町) | 9 |
| 10 | 野狐台町稲荷神社2 | 10 |
| 11 | 野狐台町子安神社 | 11 |
| 12 | 弥勒町 八幡神社 | 12 |
| 13 | 野狐台町・鎗木町路地裏1 | 13 |
| 14 | 野狐台町・鎗木町路地裏2 | 14 |
| 15 | 鎗木町路地裏 | 15 |
| 16 | 地藏堂 | 16 |
| 17 | 市立美術館(新町) | 17 |

18 枝番：佐倉真佐子著者渡邊善右衛門墓

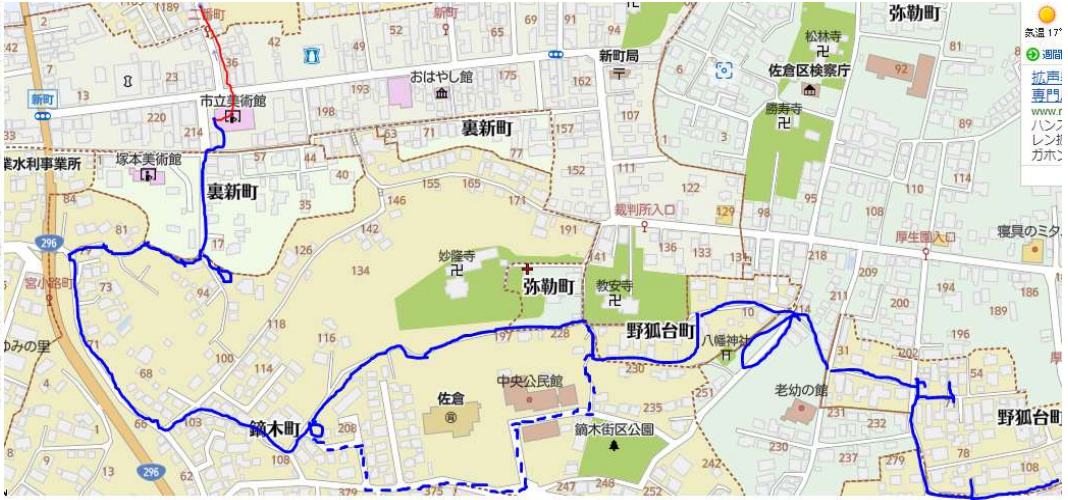
散策マップ (路地裏巡り I)



1



3



4

【樹木町～佐倉の路地裏を探訪】 [ダイジェスト版] 令和4年度 第4回例会 佐倉路地裏探検隊 探訪記

<p>1</p>	<p>2</p>	<p>3</p>
<p>京成佐倉駅</p>	<p>県立佐倉高校1</p>	<p>樹木町(じゅもくまち)の町並み</p>
		
<p>京成佐倉駅は大正15年(1926)12月開業で、当初は「佐倉」駅を名乗り、昭和6年(1931)に「京成佐倉」と変わりました。昭和37年に駅舎が現在地に移転し、橋上駅舎が生まれました。</p> 	<p>御存知の方が大半ですが、寛政4年(1792)11代、徳川家齊堀田正順(まさなり)が藩校「佐倉藩学問所」を創設、文化2年(1805)温故堂と称し、天保7年(1836)正徳書院と改称。その後校名を度々変え、明治34年県立佐倉中学校、昭和23年県立佐倉高校となった。当初は男子高校、昭和26年男女共学となった。現在の記念館(旧本館)は久野節設計で明治時代の洋式建築で国の有形文化財で現在も使用されている珍しい建物です。明治43年s藏條大手門前から現在の鍋山町へ移転。この記念館もこの時新設されました</p> 	<p>樹木町(じゅもくまち)は、小さな町ですが、未だに残った町です。古い地図をさがしたのですが、この町名が記載された地図を見つける事が出来ませんでした。迷子になってしまいそうな小さな直角に曲がっています</p> 

4

8

樹木稲荷神社



樹木稲荷神社です。後期堀田時代に進めた城下町に稲荷神社をお祀りした一環として、この本町から少し外れたこの町にもお祀りすべく稲荷神社を置いたのではないのでしょうか？



5

10

妙見神社(本町)



丁度バス停久保町の手前に、この妙見神社があります。この界限に千葉家に関連していた方がお住まいであったのでしょうか？正面には絵馬がかけられていますが、非常に薄くなりかすかに一部のみ見る事が出来ます。この社は現在の後ろ側に「鍋山」という山がありその上部にあったものが現在地に移されたようです(「総洲佐倉御白府内之図」による)

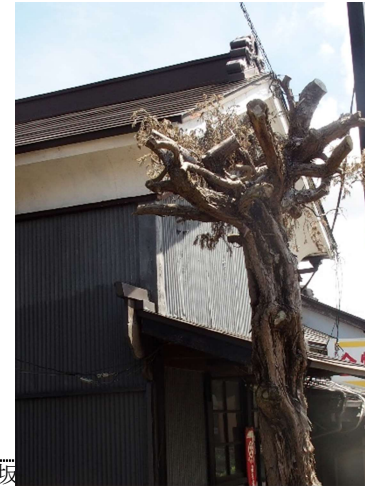
絵馬



6

11

鈴木金物の蔵(弥勒町)



久保坂 藩郡佐倉町(弥勒町)で桐ダンス等の家具、建具等の清蔵販売、明治34年に金物商品の販売を金物部として併営されました。以降現在迄約150年の営業実績です。木造の店舗の横に、うっかりすると見落としそうですが蔵造りです。店舗用に一部変更されています



7

12

坂(仮称 久保町坂)



久保町 坂(仮称 久保町坂)と命名しました。坂自身は順天堂記念館から妙経寺前迄U字型の坂です。約500m、5度程です。この馬に立って昔の地形を想像して下さい。堀田邸側に下り、反対側は佐倉高校の方に一部谷合がありますが、下っています。丁度馬の背に旧成田街道がは知っていた事を推測出来ます



8

13

妙経寺1(弥勒町)



日蓮宗経胤寺(大佐倉)の末寺で日蓮宗。承応2年(1653)に経胤寺の本実防先師が創建。本尊は釈迦如来像。住職は米倉義明、檀家325人。境内には摩利支天堂(間口4間奥行3.5間)と弁天(間口1間奥行4尺)があった。o



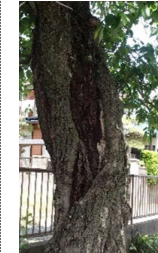
9

16

三谷家(弥勒町)



市内に6軒の統計有形住宅文化財は6軒あります。すべて現在も使用されていたり、open日が特定されており内部見学は出来ません。三谷家は江戸時代からの呉服太物を扱う老舗です。袖庫の創建は棟札から明治17年(1884)、主屋もその頃。座敷屋は昭和10年頃の創建。主屋は出桁造(だしげたづくり。2階の軒先注目。腕木が一番下でその上に横に桁、その上に屋根を支える垂木がある様式)とそれに並んで袖庫が建っている江戸時代の街道筋の老舗商家の構えです。広大な敷地も。丁度この三谷家の角を蛭田宿、高岡宿がありやはり印旛沼が在していました



10

19

野狐台町稲荷神社2



野狐台町。それぞれ町名にある如く身分の低い奴たちの長屋があり、その長屋別に御成神社があったのでしょう



11

20

野狐台町子安神社



安産社。上祠のある子安神社です。手水は宝暦4年4月(1754) 寄贈のもの。それから考えるとこの子安神社も江戸中期造立なのでしょう



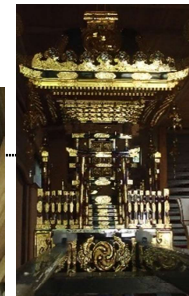
12

21

弥勒町 八幡神社



創建年代は不明です。祭神は菅田別命(応神天皇)木花開耶姫命を祀っています。かつては弥勒町五郎臺(間町南付近の小字五郎臺)にあったが、江戸末期火災によりこの珍事遷座。明示治29年火災により再建されています。明治43年3月12日弥勒町南より子安神社が合祀されました。本殿間口1間、奥行き9尺。拝殿間口3間、奥行2間。



<div style="text-align: center;">13</div> <div style="text-align: right;">22</div>	<div style="text-align: center;">14</div> <div style="text-align: right;">23</div>	<div style="text-align: center;">15</div> <div style="text-align: right;">26</div>
<p style="text-align: center;">野狐台町・鏑木町路地裏1と もう一つの路地</p>	<p style="text-align: center;">野狐台町・鏑木町路地裏2</p>	<p style="text-align: center;">鏑木町路地裏</p>
		
<p>佐倉市の観光資源として、坂、蔵、丸い下ポスト、町割り等の他に「路地」があります。その一つがこの路地です。是非路地裏を探しながら佐倉市内をめぐってみませんか！途中市内で最も巾が約60cm程の路地があるのも嬉しいものです</p>	<p>路地裏は美しさと静けさがあります。船見美余公園付近を経由しますが、かつては道沿いに佐倉市初めての電力会社、同社社宅、近くに水道会社他繊維会社も近くにありました。鏑木町の中心地でもありました。丁度中央公民館の裏の台地縁の路地裏です。景色も良いです</p>	<p>路地裏から65号線の下を市民体育館に行く道のトンネル手前を右折して直進すると猿が脇坂の途中に通ずる路地裏があります。右手は民家や竹林があります</p>
		
		

16

29

地蔵堂



17

30

市立美術館(新町)



掛番2

佐倉真佐子著者渡邊善右衛門墓



猿が脇坂の途中にうっかり見落としてしまいそうですが地蔵堂があります。かつては隣家の方が管理されていましたがご高齢でどこかに移転。以降近隣の方が管理されているのでしょう。堂内には多くの地蔵が並んでいます



佐倉市立美術館のエンタランスホールは旧川崎銀行佐倉支店の建物です。大正7年建設です。一時は佐倉町役場(昭和12年佐倉町に売却)、佐倉市役所(現在の市役所は昭和46年建設)、中央公民館、図書館(昭和51年)等も利用しました



京都市伏見区淀新町618 曹洞宗東雲寺に新旧お墓石があります。京阪電車淀駅下車。駅前には旧淀城跡があります。堀と石垣が残っています。戒名は「清靈院百歩酔荷居士」 慶應2丙寅年10月7日(1866・これは何の年月。生誕年は元禄14年/1701 3月10日) 宝暦12壬午年閏4月16日(1752・逝去日) 俗名渡邊善右衛門守由墓とあります。藩主稲葉正知の伏見淀城転封に従い淀に転居しました。最後は淀留守居役で石高は4~500石程度?

